



「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

## 確かな学力の向上を目指して～様々な取組を進めています～

千歳市教育委員会では、「確かな学力の向上」を重点施策として掲げ、標準学力検査・知能検査の一斉実施、千歳市学力向上検討委員会における調査や提言、ICT環境の整備、学習支援員の配置、補足的な学習サポートの実施、eラーニングの活用、家庭学習の推進など様々な取組を進めています。こうした取組のいくつかを紹介します。

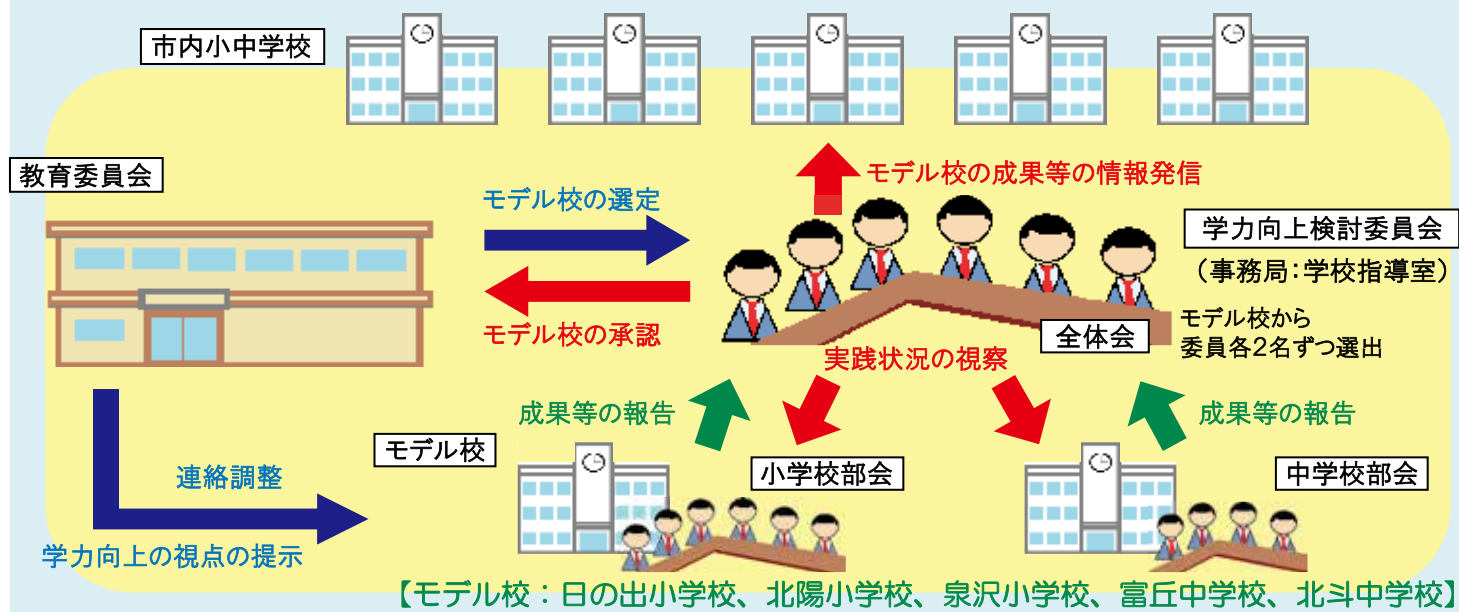


## 千歳市学力向上検討委員会における新たな取組

千歳市教育委員会と市内の教員などで構成する千歳市学力向上検討委員会では、全国学力・学習状況調査で得られたデータを分析し、千歳市の児童生徒の学力の現状と課題を把握するとともに、課題解決に向けた具体的な方策の提言や各学校における実践を支援する資料の提供などを行っています。

市内の各小中学校では、学力向上検討委員会の提言を学校改善プランに位置づけ、望ましい学習集団づくりや日々の授業改善、学校以外の学習機会の確保などの取組を進めてきており、どの学校でも、学習規律が保たれた環境の中で集中して授業に取り組む児童生徒が増えていきます。

こうした学力向上に向けた取組は、年を重ねるごとに定着が進みつつありますが、一方では、その成果が全国学力・学習状況調査の結果に反映されていない状況にあります。これらを踏まえ、学力向上検討委員会では、より学力向上の実効性を高める組織的な実践を行うこととし、今年度は、学力向上に取り組むモデル校として小学校3校、中学校2校を指定して、モデル校での取組の成果を短い期間で区切って検証し、その都度、効果が認められる取組を市内の他校に普及させていくこととしています。



# ICT機器の整備

～必要な全教室への配置が完了しました～

千歳市では、子どもたちの学習に対する意欲や関心を高め、より効果的な授業を展開することを目的として、平成25年度から電子黒板や実物投影機、ブルーレイレコーダー、デジタル教科書等のICT機器の整備を進めてきました。今年の夏休みには、小学校15校の理科室や音楽室、中学校6校の音楽室や家庭科室などの特別教室に整備を行いました。これにより、**小中学校の全普通教室に加え、習熟度別少人数指導教室や主要な特別教室に、ICT機器の配置が完了しました。**



ICT機器の活用では、電子黒板と実物投影機により、子どものノートの良い点や工夫している点を紹介したり、デジタル教科書を使って、算数では図形の特徴や作図方法、理科では実験手順などを動画で確認したり、英語を母国語とする人の発音による英単語や英文を聴いたりするなど、**視聴覚効果を使って児童生徒の理解度を深める**ことができます。授業の様々な場面で電子黒板が活用され、特に主要教科では、デジタル教科書の活用頻度が高くなっています。

こうしたICT機器の活用により、児童生徒の興味・関心が高まり、目線を上げて集中して話を聞くようになるなど、**授業に臨む基本的な姿勢・態度が身に付く**、視聴覚を効果的に使うことで、**基礎基本が定着する・理解が深まる**、



電子黒板等でノートや教材を拡大することができるので、児童生徒が相手に分かり易く工夫して自分の考えを発表したり、様々な考えを学級全体で共有し易くなり、**自ら主体的に取り組む姿勢が育まれる**などの効果が見られます。

千歳市教育委員会では、ICT機器の特徴を生かした効果的な活用をさらに進めるため、ICT機器の整備と併せ、整備開始当初から毎年継続して、**教職員のICT機器活用能力向上**のための研修を実施しています。

※ ICT機器整備事業は、防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用しています。

# 学習支援員の充実

～小学校6名増員、中学校にも2名配置～

千歳市では、平成26年度から「学習支援員」を小学校に配置し、**児童一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導を充実**し、基本的な学習内容の定着を目指しています。平成26年度は、小学校10校に10名、平成27年度からは小学校13校に14名を配置し、**算数の習熟度別少人数指導を実施**してきました。各学校では、学校の特色や課題に応じて学習効果が高まるよう学習支援員だけではなく担任外教員や教頭なども含めて指導体制を工夫し、習熟度別少人数指導の充実に努めています。

このように学習支援員を配置し、習熟度別少人数指導に取り組んだ結果、**今年度の「標準学力検査・知能検査」の結果では、算数の成績は大きく向上し**、苦手としている児童の基礎学力に向上が見られ、**下位層が減り、上位層が増加**しています。

今年度からは、**小学校の学習支援員をさらに6名増員し合計20名にしたほか、新たに中学校にも2名の学習支援員を配置**し、小学校の算数に加え、中学校の数学の習熟度別少人数指導を行っています。中学校における学習支援員の配置効果も検証しながら、引き続き、小中学校でさらなる学力の向上を目指します。

# eカレッジ

**eラーニングシステム**は、学校や家庭などで、インターネット環境があれば、いつでもどこでも学習することができるシステムです。教科書や板書に加え、理解を補助する**アニメーション**や映像で学ぶことができ、**解けない問題もヒントでサポートし、自分のペースで繰り返し学習して解く力をつける**という特徴があります。千歳市教育委員会では、**千歳科学技術大学と連携・協力**し、千歳市内の小中学生から希望者を募り、**基礎学力向上のためにeラーニングシステムを利用してもらう家庭学習支援事業『eカレッジ』**に取り組んでいます。

市内各小中学校のeカレッジ利用申込者は、事業開始当初の316人（平成18年度）から2,554人（平成29年度）に増加しています。



# 学校の特色ある取組を紹介します！



## ふれあい祭り・ファザーズレク ～ 保護者・地域の力強い協力～

信濃小学校では、毎年10月に「PTAふれあい祭り」を行っています。飲食物のバザーやリサイクルをはじめ、児童や保護者の歌・踊り等のステージ発表もあり、大きな盛り上がりの中、大変楽しい行事となっています。また、秋の土曜授業日には、おやじの会であるファザーズクラブ主催の「ファザーズレク」も行っています。体育館で、お父さんの進行のもと、チームに分かれてドッチビーで交流をします。後半は、参加児童全員とお父さんとの試合もあり、子どもたちが大喜びで真剣勝負をして盛り上がります。

保護者や地域との関わりの中で、学校との結びつきの強さを感じるPTA行事。より一層の充実を、今後も図っていきたいと考えています。



## 基礎学力の定着に向けて ～ 昼勉と100問計算チャレンジの取組～

祝梅小学校では、児童に基礎学力をしっかり身に付けさせるため、今年度は「家庭学習（宿題、自学）」「学習規律の徹底」「個の課題に応じた指導」を柱に取組を進めています。特に個別の課題に対応するため、算数の通常授業では、理解の度合や速さによるグループ分けをしています。また、学習内容の定着のため、給食準備の時間を活用した「昼勉」や毎週金曜日の朝学習の時間に四則計算の「100問計算チャレンジ」を実施しています。開始当初、特定の児童やまばらな参加状況だった「昼勉」は、徐々に児童に浸透し、今では複数の教室に分かれて多くの児童が意欲的に参加しています。「100問計算チャレンジ」は、各自が目標を設けて取り組み、目標達成者や大きく伸びた児童をお便りで紹介したり、称賛したりしています。これらの取組から、**頑張りが成果に現れ、自信を深めて学習にのぞむ児童が増えています。**



## 地域とともにある学校 コミュニティ・スクールに向けて

青葉中学校では、千歳市教育委員会から、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の調査研究指定を受け、組織づくり、制度理解、活動の検討を進めています。

今年7月には、第1回の学校運営協議会が開催されました。学校評議員、PTA役員の他、コミュニティ協議会、民生児童委員協議会の役員、日の出小校長、祝梅小校長に参加いただき、組織を立ち上げました。地域や学校のゴミ拾い活動への参加や、10月の土曜授業日には、市町連と合同で実施する避難所運営訓練などを計画しています。さらに、校区の小学校と連携を強化しながら、**地域とともにある学校づくり**を進めています。



## いじめは人間として絶対に許されない行為です！

保護者の方へ  
お願いします

「いじめ」とは、その行為を受けた人自身が心や体の苦痛を感じているものを言います。個々の行為が「いじめ」に当たるかどうかは、いじめられた人の立場に立つことが重要で、**いじめの意識が無い行為でも、その行為を受けた人が苦痛を感じている場合は「いじめ」になります。**「いじめ」には、悪口や陰口、仲間はずれ、無視、持ち物を隠す、嫌なことをする（させる）などの暴力を伴わないものや、LINE（ライン）などを利用した外から見えにくいものなど様々なものがあります。また、**いじめている人（加害者）、いじめられている人（被害者）のほか、はやし立てたり、面白がって見ている人（観衆）、見て見ぬふりをする人（傍観者）の4層構造**が特徴です。**加害者になることは絶対に許されないこと、観衆や傍観者にもならないこと、いじめにあたり、見たり、聞いたりしたときは必ず先生や親、周囲の誰かに知らせること**など、機会あるごとに子どもに働きかけましょう。

# とびっくす

## ミアーズ中学校訪問団が来千！

千歳市の姉妹都市であるアメリカ合衆国アンカレジ市のミアーズ中学校から、今年も交流訪問がありました。この事業はアンカレジ市との相互交流を通して、両市の中学生が文化や言語、歴史などを学び合い、友好の輪を広げることを目的としています。

今回で4回目となるアンカレジ市からの訪問は、5月28日から6月2日までの6日間の日程で行われました。ミアーズ中学校の生徒は、日中は市内各校での入学体験、柔道、桜餅作りなど、夜間は市内のホストファミリーと過ごすことで、日本文化を体験しました。1月には、千歳市内の中学生訪問団が、アンカレジ市へ交流訪問しています。



## 総合教育会議を開催

6月1日に今年度第1回目の総合教育会議が開催されました。この会議は、市長と教育委員会が相互に連携しながら教育行政を推進していくための会議です。

今回の会議は、「平成28年度の主な教育施策の実施状況」、「平成29年度の主な教育施策の取組」、「コミュニティ・スクールの導入に向けた取組」を議題とし、特に学校や家庭での学力向上のための取組について、多くの意見が交わされ、課題を共有しました。



## 『イングリッシュキャンプ2017-夏-』

千歳市では、子どもたちが英語や外国の文化に触れることで、国際理解を深めることを目的に、平成27年度から小学5・6年生を対象とした「イングリッシュキャンプ」を年2回開催しています。今年度は7月22日（土）に支笏湖で開催し、29名の子どもたちが講師であるALT（外国語指導助手）と様々なゲームによる交流を通して、英語を学びました。

次回は10月14日（土）に、そなえーるで開催予定です。



## 中体連全国大会出場 千歳中 鈴木さん(剣道)、勇舞中 吉井さん・阿部さん(棒高跳び)



7月に東川町で行われた北海道中学校剣道大会で個人戦準優勝の千歳中学校3年の鈴木小桜さんが8月18日から佐賀県で、帯広市で行われた北海道中学校陸上競技大会（棒高跳び競技）で優秀な記録を収めた勇舞中学校3年の吉井海人さん、阿部智也さんが8月19日から熊本県で開催される全国大会に出場しました。



## 勇舞中学校 ～我が校の図書館～

毎日10分間の「朝読書」から1日が始まります。この静かな10分間により、気持ちが落ち着き、落ち着いた環境で授業を始めることができます。月に1度、校区内の福祉施設の方が本の閲覧、貸出しで来校するなど、地域にも開かれた図書館です。長期休みには勇舞中PTAを対象に、図書館を開館して貸出しも行います。週に一度配置されている学校司書の方には、生徒が運営する図書委員会に参加していただいたり、学級掲示用の手書きPOP作成や、オススメ本コーナーの掲示をしていただいています。毎月更新する「今月の特集コーナー」も好評です。



## 支笏湖小学校 ～わたしたちの単P活動～



支笏湖小学校は、Parent（親）Teacher（先生）にCommunity（地域住民）が加わった「PTCA」として組織されています。小規模校であるため、学校・親・地域と一緒に子どもたちを育てる「共育活動」を行っています。地域活動では、年5回実施している公園清掃や支笏湖の地域行事への参加、老人クラブとの交流、地域住民も参加する運動会や学芸発表会、スケート大会など、みんなが楽しめる活動を行っています。

編集・発行 千歳市教育委員会（教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課）

■住所：〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話：24-0819（直通）

■FAX：27-3743

■E-mail：kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL：<http://www.city.chitose.lg.jp/>